

第七十一回
帝國議會
貴族院

船員法改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十二年八月六日(金曜日)午前十時三十五分開會

午前十時三十五分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ只今

カラ委員會ヲ開會致シマス

○岩田宙造君 私ハ此ノ四十三條ノ船舶賃

貸借ニ關スル適用ニ付キマシテ、此ノ儘デハ
色々疑義ヲ生ズル虞ガアルト考ヘマシテ、
先日モ色々質問ヲ致シテ居タノデアリマ

ス、其ノ心配ハ今モ同ジヤウニ持ッテ居ルノ

デハゴザイマスルガ、併シナガラ其ノ爲ニ
此ノ實害ヲ生ズル虞ガアリマスナラバ、或

ハ一部修正モ已ムヲ得ヌコトニナルノデハ

ナイカト云フ考ヲ懷イテ居タノデアリマ
スルガ、併シ段々本法ノ他ノ多數ノ重要ナ

ル條項其ノ他ノ關係、各種ノ事情ヲ考慮致
シマシテ、實害ヲ生ジナイ限リハ解釋上多

少ノ疑問ガアリマシテモ、今日ノ所デハ或
ハ此ノ儘デ置クト云フコトモ出來ルノデハ

ナイカト更ニ考ヘテ居ルノデアリマス、從ッ
テ其ノ點ニ付テ尙伺ッテ置キタイノデアリ

マスルガ、私ノ考ト致シマシテハ、是ハ昨
日來政府當局ノ方カラ屢、伺ッタ所デアリマ

スガ、此ノ船舶賃借ト云フノハ所謂裸備船

ノ場合ノミヲ意味スルモノデアルト云フコ
トノ一面、其ノ趣旨デアルト云フ言明ヲ新

タニ得マシテ、ソレト同時ニドウセ本法ノ

施行令ニ於キマシテ、色々手續ノコトヲ御規

定ニ相成リマスル際ニ、茲ニ謂フ船舶賃借

ト云フノハ、裸備船ノ場合ノミデアルト云

フコトヲ直接デモ、間接デモ其ノ施行規定
デ明カニナルヤウニ規定ガ願ハレマスルナ

ラバ、ソレニ依ッテ實害ハ生ジナイ、唯法文

ノ上ノ疑問ガ殘ルニ致シマシテモ、實際問
題トシテハ其ノ手續ノ時ニ總テ確定ヲシテ

參リマスルカラ、有耶無耶ノ曖昧ノ中ニサ

ウ云フ状態ガ續クト云フ危險ガナクナリマ
スルカラ、實害ダケハナクナル、從テ後ノ

法文ノ字句ヤ體裁ダケト云フコトニナリマ
スルナラバ、必ズシモ今日之ヲ完璧ヲ期シ

ナクテモ宜イデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデ
アリマシテ、從テ施行令ノ方ニサウ云フヤ

ウナ趣旨ノ規定ヲ設ケラレルコトハ差支ナ
イノデアリマスルカ、又設ケラレル意嚮ガ

アリマスルカ、其ノ點ヲ大體伺ヒタイト思
ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今ノ岩田博
士ノ御話ノ御趣旨ヲ能ク諒承致シマシタ、

本法案ノ主ナル部分ハ、海員ノ雇傭契約ニ
關スル事項ヲ中心ト致シテ居ルノデゴザ

イマスルカラ、船舶所有者ト海員トノ間ニ

雇傭契約ガ存スル限リ、各本條ニ依リ所有

者ガ法ノ適用ヲ受クルコトトナルノデアリ

マシテ、即チ問題ノ第四十三條ノ規定ハ其

ノ適用ナク、唯船舶ヲ裸ノ儘デ他人ニ貸ス
場合ニ於テ、此ノ借入人ト海員トノ間ニ雇

傭契約ガ新クニ成立致シマスル關係上、此

ノ契約ノ當事者タル借入人ニ本法ノ規定ヲ
適用スルト云フ意味ニ解シテ居ルノデゴザ

イマス、斯様ナ規定ハ現ニ船舶職員法、船

員最低年齡法、船舶安全法等ニ其ノ例ガア
ルノデゴザイマス、是等ノ規定ノ中デ船舶

賃借ト云フ字句ハ、總テ只今申上ゲマシタ
ヤウナ意味ニ解釋シテ參ッタノデアリマシ

テ、斯ク解釋スルコトニ依ッテ格別ノ不都合
ナク運用シテ居ル次第デゴザイマス、尙只

今ノ御注意モアリマシタノデ、施行規則ヲ
作製致シマスル場合ニ、第十八條ニ關シマ

シテハ前申上ゲマシタ意味ヲ明カニスル規
定ヲ設ケル積リデゴザイマス

○岩田宙造君 ソレデ了承致シマシタ
○橋本辰二郎君 此ノ機會ニ於キマシテ遞

信大臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、遞信
省ガ現下ノ我ガ沿岸船舶ノ缺乏ノ爲ニ非常ニ

海運界ニ問題ヲ惹キ起シタルコトヲ緩和ス

ルガ爲ニ、沿岸貿易ヲ許容スルト云フ方策

ヲ執ラレマシタコトハ、時宜ニ適シタル誠

ニ結構ナルヤリ方ト私モ贊成致シマスル次

第デアリマス、之ニ關聯致シマシテ、先般
來カラ目下遞信省ニ於キマシテ、外國船ノ

輸入ト云フコトハ之ヲ禁止ト云フ迄ニ至ラ

ズトモ、許可ヲセザル方針ヲ御執リニナッテ
居ラレタノデアリマスガ、此ノ遞信省ノ方

針ヲ緩和シテ、支那置籍船ハ勿論ノコト、

一般ノ諸外國カラデモ勝手ニ内地ニ船舶ヲ
輸入シテ以テ此ノ内國ニ於ケル所ノ船腹ノ

不足ヲ補充シテハドウカト云フ議論モ大分
或方面ニ於キマシテハ擡頭致シテ居ルヤウ

ニ聞イテ居リマスガ、之ニ對シマスル所ノ
遞信省ノ御意嚮、御方針ヲ此ノ機會ニ承ル

コトガ出來レバ誠ニ仕合セト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 御尤モノ御尋
デアリマシテ、船腹ノ不足ヲ如何ニ緩和ス

ルカト云フコトハ色々點カラ重大ナ問題
トナッテ居ルノデゴザイマス、外國船ノ輸
入ヲ許可スルト云フコトヲ、其ノ問題ノ解

決一方法トシテ主張シテ居ラル、方モ少クアリマセヌノデ、當局トシテモ色々研究致シテ見タノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通りニ政府ト致シマシテハ從來船舶改善ノ目的デ、出來ルダケ優秀船ノ建造ヲ獎勵スル方針ヲ立テマシテ、其ノ方針ノ下ニ相當ノ成績ヲ擧ゲツ、アル次第デゴザイマス、御承知ノ通りニ百噸以上ノ船舶ニ付テ見マシテモ、昨年末ニ於キマシテハ約千九百艘、四百二十五萬噸程デアリマシタモ、今年末ニ於キマシテハ約二千二百艘、四百七十五萬噸程ニ達シテ、四五十噸ノ増加ヲ致ス豫定デアリマス、尙明年ノ上半期末ニナリマスト二千三百艘ヲ超エマシテ五百萬噸ニ垂ンタル噸數ニ増加スル豫定デゴザイマシテ、サウ云フ方面ニ於テ相當船舶ノ増加ヲ……、優秀ナル船舶ノ増加ヲ見ル筈ニナツテ居ルノデアリマス、併シ只今橋本サンモ御話ノ通りニ、他方ニ於キマシテ時局ノ爲ニ、又外國品ニ對スル需要ノ増加ノ爲ニ船舶ヲ非常ニ要求シテ參ッテ居リマスノデ、其ノ點カラ船舶ヲ補充スル必要ハ十分ニ感ゼラレルノデゴザイマスガ、他方又御存知ノ支那ノ北支事變ノ進展ニ伴ヒマシテ、對支貿易ニ從事シテ居リマシタ船舶ガ著シク不要ニナツテ、他ノ方面ニ向ケナケレバ

ナラヌト云フ事態モ起ッテ參リマスノデ、ソレ等ノ噸數モ少クナイノデアリマスカラ、サウ云フ點ヲ考慮致シマシテ、今暫ク形勢ヲ觀望シテ居ル次第デアリマス、併シナガラ時局ガ益、擴大致シマシテ運送船ノ如キモノノ需要モ、現在ノ狀態又ハ現在ノ狀態以上ニ繼續スル必要ガ起リ、ソレニ反シテ船舶ニ對スル要求ガ益、増加シテ來ルト云フヤウナコトデアリマスレバ、政府トシテハ其ノ時ニハ機宜ノ處置ヲ執ッテ、船舶ノ増加ヲ圖ラナケレバナラヌト思ヒマス、只今橋本サンガ御話ニナリマシタヤウナコトモ、其ノ時ニハ機宜ノ處置トシテ採用シナケレバナラヌカトモ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ現在デハ只今申上ゲマシタヤウナ事情ガアリマスノデ、ソレ等ノ對支貿易ニ從事シテ居リマシタ船舶ノ模様ナドモ考慮ノ中ニ入レマシテ暫ク形勢ヲ觀望シテ居ル次第デゴザイマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ通信省ニ於テハ、大體ニ於テ老朽船舶淘汰、優秀船舶獎勵ト云フ御方針ヲ依然トシテ御採リニナツテ居ルト云フコトヲ承リマシテ私ハ満足致シマシタ、實際ニ於キマシテ假ニ外國船ヲ輸入スルト致シマシタ處ガ、今日ニ於キマシテハ其ノ船價ガ非常ニ昂騰致シマシ

テ、外國ソレ自體ニ於キマシテモ船舶ノ不足ヲ感ジテ居ル折柄デアリマシテ、餘程多額ノ、高イ値段デナケレバ船舶ヲ買却スルモノハナカラウト思ヒマス、又支那ニ於キマスル船ノ大部分ト云フモノハ、恐ラクハ不經濟船ガ其ノ多數ヲ占メテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス、其ノ内ニハ解撤ノ目的ヲ以テ内地ニ持チ來シタ船ヲ其ノ儘解撤ラセズシテ籍ヲ支那ニ置イテ運航シテ居ルモノモ多クアラウト思ヒマシテ、是等ノ輸入ヲ許シマシテサウシテ日本船籍ニスルト云フコトハ、日本船舶ノ總體ノ上カラ見マシテ老朽船ガ多數ヲ占ムルト云フ結果ニナリマシテ、船舶改善ノ趣旨ヲ全ク滅却スルコトニナルヤウナ虞モアラウト思ヒマス、又昨日ノ新聞カラ見マスルト、「ロンドン」ニ於テ日本カラ十一「シル」トカデ備船ヲシタト云フコトデアリマス、十一「シル」ト云ヒマスト云フト約ドモ十圓近クニ今日ナルカノヤウニ思ヒマスデスガ、斯ク云フナニハ歐洲戰爭ノ終リニ於テ漸ク見タクラキ高運賃デゴザイマスガ、斯ク云フモノヲ是ハ非常ナ焦眉爛額ノ必要ヨリシテ已ムラ得ズ金錢ナドヲ顧慮スル暇ナクシテ備ッタノデアラウト思ヒマスガ、差當リノ必要ヨリシテ對策ヲ誤ルヤウナコトハ餘リド

ウモ好マシクナイカノヤウニ思ヒマスノデ、能ク總テノ海運界ノ事情、世界ノ海運界ノ情勢ナドヲ達觀セラレマシテ、一部ノ人ノ策動ニ乘ゼラル、ヤウナ輕率ナル舉動ヲ演ズルヤウナ不幸ヲ見ルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、日本ノ海運界ノ前途ノ爲ニ實ニ憂慮スベキコトト私ハ考ヘルノデアリマシテ、篤ト其ノ時ニ於ケル所ノ情勢ヲ調査セラレマシテ、其ノ處置ヲ誤ラザルヤウナ方針ヲ以テ御進ミニナルコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○伯爵後藤一藏君 司法大臣ニチョット御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、此ノ船員法ヲ出サレテ色々ノ刑事事件ヤナンカト云フモノハ、刑法ニ據ルト斯ク云フ御考ノヤウデアリマスガ、度々是ハ力説論議サレタコトデアリマスガ、ドウシテモ各、特異性ト云フモノガアルノデアルカラ、刑法一點張りニ行カウト云ツテモ刑法バカリデ、海ノコトモ陸ノコトモ空ノコトモ交通ダケニ付テデモサウ云フコトヲ規定スルノハ無理デハナイカ、ダカラドウシテモ海事ノコトハ、海事ノコトニ付テダケデモ法律ガ出來ルト云フコトガ大事デヤナイカト思ヒマスガ、今迄ノ建前カラ言ヘバドウシテモソレハ出來ナ

イ、斯ウ云フコトデ司法當局ノ御答辯モアリマスケレドモ、將來斯ウ云フコトガ段々複雑ニナツテ來ルト云フコトカラ考ヘマスト云フト、ドウシテモソコ迄今カラ司法省アタリデモ御考ヘ下サラナケレバナラス問題デアアル、ソレデ司法當局トシテハ將來モ何處迄モ此ノヤリ方ヲ續ケテイラシヤル御積リデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ伺ヒタイ

○國務大臣(鹽野季彦君) 御尋ネノ點ニ付

キマシテハ只今ノ所、刑法ノ改正ノ事業ガ既ニ著手サレテ可ナリ進行シテ居ル際デアツテ、此ノ刑法ノ改正ノ事業ニ付キマシテハ諸般ノコトヲ十分ニ考究致シマシテ、現在並ニ將來ノ刑ノ盛リ方、刑ノ按配ト云フコトニ付テ考究致シテ居リマス、從テ此ノ海員ノ特性ニ付キマシテモ私共十分ニ能ク納得致シマシタガ、此ノ刑法ノ改正委員會ニ出シテ、サウシテ其ノ上ニ於テ十分ニ決メタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、現在ノ所、其ノ儘ニヤツテ居テ宜カラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、

○伯爵後藤一藏君 政府委員ノ御答ニ依リ

マシテ、刑法ノ改正委員ノ中ニハ専門的ノ海事知識ノアル人ヲ入レルコトニ付テ或委員カラ御質問ガアツタノデスガ、ドウモソレ

ハ法規上出來ナイ、官制上法規上カ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ御答ガアツタノデスガ、サウ云フヤウナコトデ此ノ刑法ノ改正ヲサレルト云フノデハ非常ニ心細イと思フモノデスカラ、只今ノヤウナ質問ヲ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ドウモ昨日モ私ハ司法大臣ノ御出デニナラス時ニ申上ゲマシタガ、自動車ノ如ク我々ノ日常出入スル時ニ見テ居ルヤウナ事柄ニ對シテモ、非常ニドウモ法ヲ扱フ方ト實際ノ人トノ間ニ齟齬ガ云フコトガ多イト云フコトハ已ムヲ得ナイ、而モ法ノ方ヲ扱フ方ノ方々ハソレヲ努メテ知ラウトナサラスト云フ傾向ガ非常ニ多イ、デスカラドウゾ是ハ本當ニ御考ヘ下サルナラバ、モウ少シ實際ノ問題ニ付テ司法省ニ於テモ御考ヲ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマ

スシ、海軍ノ法律ナラ法律ト云フモノヲ司法省ニ於テモ切り離シタモノトシテ、遞信省ノ關係カモ知レマセヌケレドモ、御作リニナルト云フコトヲ成ルダケ早クシテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマス、遞信省ノ方トシテモ私ハ海員ノ問題ニ付テ相當御考ヘ下サツテ居ルコトハ分リマスケレドモ、甚

ダ私ハ熱ガ足リナイト思フ、例ヘバ此ノ刑法ノ改正ニ當ツテモ海事ノ問題ニ付テモ色ノコトガアル、ソレカラ又今度ノ海員法ノ問題ニ付テモサウデアリマス、サウ云フ時ニ其ノ委員ノ方ガ、マア船ニデモ乗ッテ横濱カラ神戸カラ門司、上海迄デモ乗ッテ見ヨウト云フヤウナコトヲナサツタト云フコトヲ伺ツタコトガナイ、ドウモ實際ト法文トノ喰違ヒガ出來ルト云フコトハ、サウ云フ所ニアル、ソレダケ乗ラレタ處デ大シタコトハナイト言ヘバナイカモ知レマセヌガ、私ハ非常ニ違ヒガアルト思フ、ソレデ機關室ニ入ッテモ、「ブリッジ」ニ乗ッテモ、水夫ガヤツテ居ルコトヲ見テデモ非常ニ意味ガアルト思フ、唯東京ニバカリ居ラレテ、斯ウ云フ法文ヲ練ラレルト云フコトハ、船ノ上バカリデナシニ非常ニ私ハ日本ノ一般ノ行キ方ニ付テ支障ヲ來ス問題ガ多イト思フ、其ノ結果トシテ斯ウ云フヤウナ、今度ノヤウナ委員會ノ色々ノ問題ガ「スムーズ」ニ行カナカタヤウナコトデハナイカト私ハ思フノデス、ドウゾ其ノ邊ニ付テ遞信當局ニ於テモ實際ノ問題ニ付テモウ少シ考ヘテ戴キタイ、考ヘルバカリデハナク意識シテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ切ニ御願ヒスル譯デアリマス、サウシテモウツツは遞信大臣、司法大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、此ノ海員ノ問題

ト云フモノハ昨日モ申上ゲマシタケレドモ、衆議院ニ於テ相當論ジテ居ル、此ノ方ニ於テモ論ジテ居ル、衆議院ニ於テ論議サレタ時ニ於テモ、色々ノ特異性ヤナンカニ付テ知ツテ居ルト云フコトハ随分仰シヤツタケレドモ、實際前議會ニ提出サレタモノト、今度提出サレタモノトチツトモ違ッテ居ナイ、法文化シテ吳レト云フコトヲ、アレダケ皆ガ申シタコトヲ無視サレタト云フコトハ甚ダ遺憾ダト思フ、遞信當局ニ於テモ此ノ努力ヲナサラナカッタト云フコトハ誠ニ遺憾ダト思フ、今度ノヤウナ短期ノ臨時議會ニ御出シニナルト云フコトハドウ云フ譯デアルカ、ト云フコトヲ伺ツタノデアリマスガ、昨日ハ社會立法ノ問題、外ニモ重要ナ急グモノガアルカラト云フコトデアツタ、サウ云フコトモオアリニナツタデセウケレドモ、アレダケ言ツタコトヲ、法文ノ上ニ表ハシテ貫ヒタイト云フコトヲ相當世間デモ論議サレテ居ルト云フコトヲ、司法大臣モ御認めニナツテイラシヤルヤウニ伺ツタノデスケレドモ、コンナ短期議會ニ御出シニナラスデモ、通常議會迄練ツテ、サウシテ法文化シテ御出シニナラナイカ、私ハ昨日仰シヤツタダケノ、早急ニ要スル理由ハ寧ロ練リ直シテ御出シニナルト云フコトノ方ガ重大ダト思フ、是

貴族院

ト云フモノハ昨日モ申上ゲマシタケレドモ、衆議院ニ於テ相當論ジテ居ル、此ノ方ニ於テモ論議サレタ時ニ於テモ、色々ノ特異性ヤナンカニ付テ知ツテ居ルト云フコトハ随分仰シヤツタケレドモ、實際前議會ニ提出サレタモノト、今度提出サレタモノトチツトモ違ッテ居ナイ、法文化シテ吳レト云フコトヲ、アレダケ皆ガ申シタコトヲ無視サレタト云フコトハ甚ダ遺憾ダト思フ、遞信當局ニ於テモ此ノ努力ヲナサラナカッタト云フコトハ誠ニ遺憾ダト思フ、今度ノヤウナ短期ノ臨時議會ニ御出シニナルト云フコトハドウ云フ譯デアルカ、ト云フコトヲ伺ツタノデアリマスガ、昨日ハ社會立法ノ問題、外ニモ重要ナ急グモノガアルカラト云フコトデアツタ、サウ云フコトモオアリニナツタデセウケレドモ、アレダケ言ツタコトヲ、法文ノ上ニ表ハシテ貫ヒタイト云フコトヲ相當世間デモ論議サレテ居ルト云フコトヲ、司法大臣モ御認めニナツテイラシヤルヤウニ伺ツタノデスケレドモ、コンナ短期議會ニ御出シニナラスデモ、通常議會迄練ツテ、サウシテ法文化シテ御出シニナラナイカ、私ハ昨日仰シヤツタダケノ、早急ニ要スル理由ハ寧ロ練リ直シテ御出シニナルト云フコトノ方ガ重大ダト思フ、是

ハ意見ノ相違デアルカモ知レヌケレドモ、ドウシテモ私ハサウ思フ、本統ニ海員ノコトヲ思ッテ爲サルナラバソコニ遞信省ノ當局ナドハ御考ヘニナラナケレバイカヌ、斯ウ私ハ思フ、サウシテ又昨日出タシデスガ、四十三條ノ問題ニ付テ岩田博士カラ非常ニ御深切ナ御注意ガアツテ、私ナドハ法律ノコトハ能ク知ラナイケレドモ、是程御深切ナル御注意ガアツテ、サウシテ色々ト御話ニナツタニ拘ラズ、刑事局長ガ歸ラレテ、民事局長ガ來ルカラ待ッテ居レト言ハレテ、何時迄經ッテモ來ラレナイ、三時カラ四時迄經ッテモ來ラレナイ、休憩中ニ來ラレタカト思ッたら、岩田博士ト懇談シテ去ッテシマツタ、ア、云フ事柄ヲ考ヘマスト云フト司法省ノ御考ガ奈邊ニアルノカ、今度ノ刑法ノ改正ノ時ニデモ色々考ヘルト仰シヤツテモ、ドノ程度ニ爲サルカト云フコトヲ非常ニ心配スルノデアリマス、今日モ民事局長ハ出テ來ラレナイ、一度モ答辯ニ御立チニナラス、斯ウ云フヤウナコトデ此ノ重大ナル法律案ヲ審議シヨウト云フコトハ誠ニ困ツタ問題ダト思フ、殊ニ此ノ内閣ハ正義ニ依ッテ革新ヲスルト云フコトデアアル、相剋ヲ無クスルト云フコト、其ノ趣意カラ言ッテモ此ノ法案ヲ今迄ノヤウナ審議ノ状態デ之ヲ通過スルト

云フ事柄ハ、是ハ私トシテ非常ニ自分自ラトシテモ職責ヲ盡シ得ナカッタコトヲ誠ニ遺憾ニ思ッテ居ル次第デアリマス、岩田博士ノヤウナ立派ナ御方ガ、此ノ法規ハ此處ガ惡イノダゾト言ハレテモ、其ノ惡イト云フ事ガ判ッテ居テモ、惡イ事ヲ知ラヌ顔シテ通ラレルト云フヤウナ事柄ハ誠ニ困ツタコトダト思フノデアリマスガ、先程ノ博士ノ御話ニ依ルト便法ガナイ譯デハナイト云フ、斯ウ云フ御話デアリマスカラ、ソレ宜イカモ知レマセスガ、私ハ此ノ點ニ付テ誠ニ遺憾ダト思ヒマス、其ノ事ダケヲ兩大臣ガ御列席デアリマスカラ、申上ゲテ置キマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 後藤伯爵ノ色々御氣付ニナリマシタ點ハ私モ御尤モ存ジマス、實ハ海員ノ過失ニ關スル刑罰ノコトニ付キマシテハ、司法當局ニ於キマシテ刑法改正審議會ノ時ニ十分ソレヲ考慮スルト云フコトニナッテ居リマスノデ、遞信省ト致シマシテモ出來ルダケ司法當局ト協力致シマシテ、其ノ實現ヲ期シタイト思フテ居リマスノデ、海事上ノコトニ經驗ノアル學者ノ意見書ノ如キモノモ、司法當局ノ方ニ御傳ヘシテ見テ戴クコトニ致シテ居リマス、又御審議ノ此ノ刑法改正ニ關スル審議會ノ進行ノ途中ニ於テハ、遞信省カラ司法當局

ニ御願ヒシテ、又サウ云フ専門家ノ意見モ聽イテ戴キタイト思フテ居ルノデアリマス、決シテ其ノ場限りノ言明デナク、眞實ニ言明シタ所ハ、遞信當局ト致シマシテハ之ヲ實現スル決心ヲ持ッテ居リマス、十分ニ努力ヲ致シマス、ソレカラ前回ノ如ク衆議院ヲ通過シマシタ所ノ附帶決議ノ中ニ、衆議院ノ要求ヲ法文化スルト云フヤウナ意味ノコトガ書イテアリマスルガ、ソレハ實ハ此ノ刑法ヲ改正スル時ニ法文化スルト云フヤウナ意味デアリマシテ、是ハ刑法改正ノ行ハレマス時ニ、法文化スルコトニ努メルト云フ其ノ精神ハ決シテ失ッテ居ナイ譯デゴザイマス、唯此ノ法案ノ成立ヲ遞信當局ガ非常ニ急ギマス意味ハ、是ハ後藤伯爵モ御存知ノ通りニ、約十萬ノ海員ノ生活ノ保護ニ關係シテ居ル海員ノ仲間カラ見マスト、非常ニ期待サレテ居ル社會立法デアリマシテ、此ノ法案ノ成立ハ十萬ノ海員カラ見マシテモ、非常ニ要求サレテ居ルコトト思ヒマシタルシ、兎ニ角海事法令審議會ニ於キマシテ官民各方面、勞資各方面ノ人が集ッテ拵ヘ上ゲマシタ其ノ原案ヲ、意見ノ纏ッタ案ヲ餘リニ法文化シナイデ長ク放任シテ置クト云フコトハ、時代ノ要求ニモ背クヤウニモ思ヒマスノデ、取敢ズ各方面ノ意見ノ纏ッタモノ

ダケヲ法律トシテ出來ルダケ早く制定シタイ、サウシテ尙研究ヲ要スル點ハ引續キマシテ遞信當局ニ於キマシテモ研究ヲ致シマシテ、サウシテ修正スベキモノハ修正ヲシ、尙追加スベキ所ハ追加致シマシテ、出來ルダケ完璧ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、色々此ノ度ノ法案ノ御審議ノ途中デ各委員諸君カラ御注意下サイマシタコト、又色々御意見ヲ聽カセテ戴キマシタコトハ、十分遞信當局ニ於キマシテ之ヲ考慮致シマシテ、將來ノ改善、修正ノ資料ニ致シタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○伯爵後藤一藏君 私ハ是デ質問ヲ終リマスガ、只今ノコトデアリマスガ、司法大臣カラ御答辯ガアリマセヌデシタガ、ドウゾ只今遞信大臣ノ仰シヤツヤウニ此ノ海員ノ問題ニ付テ出來ルダケ御考ヲ戴キタイト思ヒマシタノデスガ、サツキ時代ノ要求ニ應ジテ追加修正スルト仰シヤツヤウデスガ、私ガサツキ一番初メニ申シマシタガ、刑法ノ中ニ全部ヲ引クルメルト云フコトハ非常ニムツカシイト斯ウ思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ今迄ノ慣習ガアルカラ、ソレヲ壞スト云フコトハムツカシイカモ知レマセストモ思ヒマスケレドモ、是ハ本當ニ海員ノ爲ヲ

御思ヒニナルナラバ、別ニ御考ヲナスツテ、
遞信當局ニ於テ時代ニ即シク根本的ナモノ
ヲ御作リニナリ、追加修正デナンシ、ソコ
ヲ御考ヲ一ツ戴キタイト斯ウ思ツテ居リマ
スガ、是デ以テ私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 外ニドナタカ
御質問ゴザイマセヌカ、是デ質問ヲ終ルコ
トニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ質問
ハ是デ終リマス、是カラ討論ヲ開始致シマ
ス

○子爵秋元春朝君 私ハ本案ニ賛成ノ意ヲ
表スルモノデアリマスガ、何分ニモ本法案
ハ六章七十一條ト云フヤウナ厩大ナルモノ
デアリマシテ、此ノ短期間ノ會期ニ於テ隨
分勉強ハ致シタノデスガ、ナカノ細目ニ
互ツテ迄ノ檢討ト云フコトハ出来マセヌガ、
大體ヲ通覽致シマスト現行法ニ比ベマシテ、
海員ノ生活上優遇サレテ居ル點ガ多々見受
ケラレマスノデ、此ノ點ニ付テハ全ク同感
デアリマス、異議モゴザイマセヌ、ガ唯改
正法ニ於キマシテハ、現行法ニゴザイマン
ク七十三條、詰リ刑罰ノ點デアリマスガ、
是ガ削除ニナツテ居リマス、ソシテ此ノ點ダ
ケガ私共聊カ不満ナ點ガアルノデアリマ

スガ、又海員一同ノ聲ト致シマシテモ急ニ
變化ヲ及スノデハナイカト云フヤウナ危懼
心モアリマスシ、又此ノコトニ付テハ衆議
院ニ於テ七十議會ニモ殆ド初メカラ終ヒマ
デ、此ノ點デ論議サレ、又今回ノ七十一議
會ニ於キマシテモ相當ニ論議ガアリマシタ
シ、又本委員會ニ於キマシテモ相當ニ論議
ガアリ、又質疑應答ガアツタノデアリマス、
併シ遞信當局ノ御言明又司法當局ノ御言明
ガアリマシタノデ、全然満足トハ申シマセ
ヌケレドモ、一應此ノ點デ私ハ諒解シテ置キ
タイト思ヒマス、就キマシテハ希望決議ヲ
附ケマシテ、ソシテ本案ニ賛成ヲ致シタイ
ト思フノデアリマス、希望決議ヲ讀ミマス、
五ツノ希望決議ヲ附ケタイト思フノデアリ
マス、一、政府ハ海運ノ重要性ト海上任務
ノ特殊性ニ鑑ミ速ニ現行刑法ヲ改正シ船員
ノ業務上ノ過失ニ對シテハ著シク其ノ職務
ヲ怠リタル場合ニ非ザレバ處罰セザル事ヲ
明カニシ船員ヲシテ安ジテ其ノ職務ニ從事
スルヲ得セシムル事ニ、政府ハ船員ノ業務上ノ
過失ニ對シテハ海事審判所ノ審判後ニ非ザレ
バ刑事訴追ヲナサザル方針ヲ採ル事、二、政
府ハ檢察當局ニ對シ船員ノ業務上ノ過失ニ
對シテハ特ニ其ノ取扱ヲ慎重ニシ輕々處斷
スルガ如キ事ナキ様訓令ヲ發スル事、四、政

府ハ檢察當局ニ對シ海難ニ際シ船員ノ喚問
取調ヲ爲スニ當リテハ充分ニ船員ノ任務ヲ
理解シ其ノ業務ニ支障ヲ來サザル様注意ス
ベキ旨訓令ヲ發スルコト、五、水先人ニ對
シテモ船員ト同様ノ取扱ヲ爲ス事、以上五
ツノ事項ヲ希望決議トシテ附シマシテ本案
ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス、ドウカ私ノ
此ノ希望決議ニハ全員御賛成ヲ希望致シマ
ス

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デゴザイ
マスカ、此ノ希望事項ハ後廻シニシテ、先
ヅ原案ノ討論ヲ進メタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 私ハ只今承リマシタル希
望決議ニ賛成スル一人デアリマスルガ、委
員長ノ御意見ニ依リマシテ希望決議ハ後ニ
廻シマシテモ差支ゴザイマセヌ、本案ニ對
スル私ノ意見ヲ是ヨリ申述ベタイト思ヒマ
ス、本案ハ大體ニ於キマシテ、時代ノ要求
ニ順應シ、本邦海運業ノ發展ト、船舶所有
者ト乘組員間トノ協調ヲ目的トシマシテ、
併セテ從來ノ關係ノ諸法規ヲ整理統一セラ
レタル所ノ法案デアリマシテ、政府ノ御説
明ニ依リマシテモ、船主並ニ船員ノ代表者
及官民各方面ノ權威者ヲ網羅セル調査會ニ
於テ審議決定シタル成案ヲ骨子トシ、之ニ國
際勞働總會ニ於テ採擇セラレタル條約案ノ

趣旨ヲ取入レテ立案サレタモノデアルト云
フコトデアリマシタ、本員モ案其ノモノハ
先ツ以テ今日ノ社會立法上必要ナル良案デ
アルト認ムルノデアリマス、併シナガラ多
年ノ間船主及船員ガ共同一致致シマシテ、
最モ熱心ニ要望セル所ノ肝腎ナル一箇條、
即チ船員ノ輕過失ハ之ヲ司法處分ニ付スベ
カラズトノ一箇條、之ヲ脫漏セシコトハ所
謂九假ノ功ヲ一簣ニ虧クモノデアリマシテ、
本法案ノ完璧ヲ傷ツクルモノデアリ、本員
ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、海事行政ノ主
管省デアリ、又海事ニハ最モ通曉セラレ船
員ニ對シテ最モ同情アル所ノ遞信當局ニ於
カレマシテハ船主、船員ノ此ノ多年ニ互リ熱
望セル所ノ所謂船員ノ業務上ノ輕過失ヲ司
法處分ニ付スルノ不當ナルコトノ主張ニハ
全面的同感ヲ表セラレマシテ、此ノ海員法
改正ニ當リマシテ船主並ニ船員ノ要望ヲ容
レラレマシテ、重過失ハ之ヲ處罰スルモ、輕過
失ハ之ヲ行政處分ニ委スベク之ヲ法文ノ原
案ニ明記セラレタト云フコトデアリマシタ、然
ルニ司法省ノ反對ニ會シマシテ、遂ニ遞信省ノ
原案ヲ覆サレ、刑罰規定ニ關スル所ノ箇條
ガ變更セラレタコトデアリマス、此ノ事柄
ハ誠ニ私ハ惜ムベキコトト思フノデアリマ
ス、司法當局ハ船舶操縦者ノ過失ニ對スル

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デゴザイ
マスカ、此ノ希望事項ハ後廻シニシテ、先
ヅ原案ノ討論ヲ進メタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デゴザイ
マスカ、此ノ希望事項ハ後廻シニシテ、先
ヅ原案ノ討論ヲ進メタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デゴザイ
マスカ、此ノ希望事項ハ後廻シニシテ、先
ヅ原案ノ討論ヲ進メタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デゴザイ
マスカ、此ノ希望事項ハ後廻シニシテ、先
ヅ原案ノ討論ヲ進メタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デゴザイ
マスカ、此ノ希望事項ハ後廻シニシテ、先
ヅ原案ノ討論ヲ進メタイト思ヒマス

刑事責任ヲ、他ノ一般交通機關ノ操縦者ノ刑事責任ト區別シテ、輕減スルト云フコトハ、均衡ヲ失シ、又國民ノ感情ニ反スル、加之船員外ノ通常人ト雖モ過失ノ程度ヲ論ゼズ、船舶ノ顛覆、沈没、破壊セシ時ハ之ヲ罰スルコトニナツテ居ル、通常人スラ罰スル場合ニ、船員ニ限り之ヲ寬容ニ取扱フト云フコトハ、誠ニ權衡ヲ失スルカラ、今回ハ船員法ノ改正ニ際シ、現行船員法第七十三條ノ挿入ヲ見合セ、交通ニ關スル一切ノ過失ハ等シク刑法ニ於テ處斷ヲスルコトニシタトノ趣旨ヲ答辯セラレタノデアリマス、此ノ司法當局ノ御意見ハ法理論トシ、又一片ノ理窟ト致シマシテハ一應ハ御尤モナリト首肯セラル、點モアルノデアリマス、併シナガラ世ノ中ハ單ニ理窟一片ノミニテ通ルモノデハナイノデアリマス、況ンヤ政治ハ現實ニ即セネバナラナイノデアリマス、法律モ勿論時代ノ進運ニ順應シ、適切ナル時代ノ要求ニ從ヒ、立法運用ノ必要アルコトハ又言ヲ俟タナイノデアリマス、英國ニ於キマシテハ幾多煩瑣ナル法律ガ現存シテ居ルニモ拘リマセズ、時勢ニ伴ハザルモノハ之ヲ死法即チ死シタル法律ト致シマシテ、其ノ適用ヲ休止シテ居ルノ慣例ガ少カラヌト云フノデアリマス、船員法モ英國ニハ在

ルニハアリマスガ、嘗テ之ヲ懲罰ノ目的ニ運用シタルコトハナイト云フコトデアリマス、ソレ故ニ近年英國ノ海員ノ業務上ノ過失ト致シマシテハ全ク處罰ヲ受ケタルコトハナイト云フテ、非常ニ誇テ居リマス、又是ガ英國ノ船舶ガ遭難事故ノ少キ所以ナリト英國人ハ得々トシテ揚言致シテ居ルノデアリマス、之ニ依ツテ見マシテモ、技術者ノ業務上ノ過失ヲ處罰ニ依リマシテ、他ノ警戒ヲ喚ビ起シ、又ハ反省サセヨウト試ミルコトト云フコトハ全クハ木ニ緣リテ魚ヲ求ムルヤウナモノデアリマシテ、寧ロ罰セザルコトガ却テ好結果ヲ齎スト云フコトニナルノデアリマス、實ニ業務上ノ過失ヲ一律ニ處罰スルト云フコトハ、百害ガ有ツテ一利ガ無イト思ヒマス、業務上ノ過失ナルモノハ、其ノ職業ノ種類ニ應ジ宜シク區別ヲシテ取扱フベキモノデナケレバナリマセヌ、例ヘバ醫師ガ治療ヲ誤リマシテ患者ヲ死傷セシメタリト致シマシテモ、之ヲ他ノ殺傷罪ト同一ニ取扱フ國ハ何處ニアリマスカ、我が高級船員ヲ陸上交通機關ノ電車自動車ノ運轉手ト同視シ、一律ニ取扱フト云フヤウナコトハ畢竟事理ヲ辨ゼザル甚シキ事柄デアリマシテ、私ノ慨嘆ニ堪ヘザル所デアリマス、彼ノ兇惡ナル犯罪ヤ又ハ破廉恥罪

ノ如キモノハ萬人齊シク之ヲ適用シナケレバナリマセヌ、併シナガラ業務上ノ過失ニ至リマシテハ、宜シク職業ノ種類ト其ノ地位人格等ニ對應致シマシテ、然ルベキ區別ヲシテ取扱フ爲シ、特別法ニ於テ之ヲ規定スルコトハ當然ガラウト思ヒマス、即チ船員ノ過失ノ如キモノモ、此ノ船員法ニ規定スベキモノデアルト思フノデアリマス、其ノ點ニ對シマシテ切ニ司法當局ノ猛省ヲ促サザルヲ得ナイノデアリマス、況ンヤ技能ヲ有スル人々ト云フモノハ國家ノ寶デアリマス、國家興隆ノ基礎トナリ、又經濟發展ノ原動力トナルモノデアリマス、ソレ故ニ國家ハ宜シク是等技能ヲ有スル者ヲ優遇シテ、安シジテ各自ノ天分ト技能ヲ十分ニ發揮セシメナケレバナラス、之ヲ誘導又ハ獎勵スベキコトハ勿論デアリマス、而シテ其ノ職業ト人格トヲ無視致シマシテ、玉石混淆、總テ之ヲ一律ニ取扱ハムト欲スルハ、恰モ國家ノ進運ヲ阻害スルニ異ナラズ、斷ジテ爲政家ノ執ルベキ道デハナカラムト私ハ思フノデアリマス、重ネテ言ヒマス、我が海員諸君ハ海運國策遂行ノ重大使命ヲ帯ビテ世界ノ海運界ニ躍進シテ、海國日本ノ海外發展ノ第一線ニ立ち、國家ノ爲ニ挺身奮闘致シテ居リマスル尊敬スベキ紳士デア

リマス、之ヲ彼ノ電車ヤ自動車ノ運轉手ト同一視スルガ如キハ、國家的使命ノ上ニ活動致シテ居リマスル是等尊敬スベキ戰士ノ矜持ト自尊心ヲ傷ツケ、延イテハ職業上ノ意氣ヲ阻喪セシムル虞レガ十分ニアルノデアリマス、斯ノ如キコトハ政治上努メテ之ヲ避クベキコトデアルト思フノデアリマス、本邦高級海員ガ船員業務上ノ過失ハ、其ノ重大ナルモノニ限り、之ニ嚴罰ヲ課シ、輕過失ハ之ヲ行政處分ニ委ネクシトノ請願書ヲ提出シタルコトハ、實ニ一再デアアマセヌ、第一ニハ大正三年ニ此ノ請願ヲ提出致シタノデアリマス、以後二十數年ニ互リマシテ絶エズ此ノ請願ノ趣旨ヲ繰返シテ居ルノデアリマス、然ルニ今日迄之ヲ等閑ニ附シマシタノハ、遞信當局ニ於キマシテモ、海員ニ同情アリトハ雖モ、多少怠慢ノ責ヲ免レヌ點モアリト言ハナケレバナリマセヌ、併シ遞信當局ニ於キマシテ近來非常ナル同情ヲ以チマシテ、海員ノ希望ノ達成ニ努力ヲ拂ハレタルコトハ私モ感謝スル所デアリマス、元來勞働者ト資本家ト云フモノハ、其ノ立場ヲ異ニスル關係上ヨリ致シマシテ、雙方ノ主張ハ常ニ相反撥シ、對立關係ヲ生ゼザルモノハ殆ド稀デアリマス、然ルニ獨リ此ノ船員ノ輕過失ハ之ヲ行政處分ニ委ネラレ

タシトノ主張ニ至リマシテハ、船主船員ハ勿論、一般海運關係者ガ學ッテ共鳴スル所デアリマス、之ヲ是レ輿論ト言ハズシテ、將何ヲカ輿論ト言ハムヤデアリマス、況ンヤ此ノ輿論ナルモノハ衆愚ノ勢デハアリマセヌ、衆議院ニ於キマシテモ、亦本院ニ於キマシテモ、此ノ海員法ノ審議ニ當リマシテ、重點ハ此ノ事柄ニノミ集中セラレテ居、タノデアリマス、是ヨリ見マシテモ、此ノ輕過失ハ司法處分ニ付スベカラズト云フ輿論ハ、日本ニ於ケル所ノ識者ノ言葉デアリマス、決シテ是ハ衆愚ノ輿論デハナイノデアリマス、斯クノ如キ尊敬スベキ輿論ニ耳ヲ藉サヌ如キ政治ト云フモノハ、其ノ實政治デナイト言フテ可ナリト私ハ思フノデアリマス、全體立法者ハ時代ノ進運ニ伴ヒ、輿論ノ歸趨ヲ察シ、又ハ法案關係者ノ意思ヲ尊重シテ、依ッテ以テ妥當穩健ナル法規ヲ制定シナケレバナラナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ重ネテ司法當局ノ御反省ヲ促シタイト思ヒマス、又司法當局ハ警察ナリ檢事局ナリ檢察當局ニ訓示ヲ發シ、又ハ注意ヲ喚起シテ運用ニ遺憾ナキヲ期シタイト云フコトヲ述ベラレテ居リマスルガ、果シテ訓示若シクハ注意ノ喚起ニ依リマシテ、法ノ圓滿ナル運用ガ期シ得ラル、デア

リマセウカ、近年ニ起リマシタル檢察當局ニ對スル國民ノ見ル所ニ依リマスレバ、遺憾ナガラ此ノ目的ノ達成ハ十分ナル期待ヲ置キ難イト私ハ信ズルノデアリマス、殊ニ船舶ノ遭難直後ニ於キマスル所ノ警察當局ノ處置ニ至リマシテハ、實ニ事理ヲ辨ゼザルノ甚ダシキモノガアルノデアリマス、例ヘバ船舶ガ遭難致シタル場合ニ於キマシテ、船長ハ乗客其ノ他總テノ乗組員ヲ避難ヲサセマシテ、自分ハ善後ノ處置ヲ爲シテ最後ニ海ニ飛込ムノデアリマスガ、幸ニ辛ウジテ生命ヲ全ウシ、氣息奄々ト致シマシテ海岸ニ泳ギ著イタト致シマスナラバ、直チニ警察官ガ參リマシテ、此ノ立ツコトモ能ハザルヤウニ困憊シテ居ル所ノ人ヲ拉致致シマシテ、警察署ニ抑留シ而シテ種々ノ審問ヲ爲スノデアリマス、船長ハ未ダ船主、關係者ニモ遭難ノ事故ノ發信モセズ、又ハ遭難事故ノ届出モ爲サザル前ニ、直チニ斯クノ如キ目ニ遭フト云フコトハ、殆ド堪ヘ兼ネルコトデアルト云フコトノ述懐ヲ、私ハ度々遭難セル船長ヨリ聞イテ知ッテ居ルノデアリマス、ソレデ一片ノ訓示ニ依リマシテ、此ノ檢察當局ノ適當ナル處置ヲ望ムト云フコトハ、私ハ遺憾ナガラ十分ノ期待ヲ置クコトハ出來ナイノデアリマス、元來法

文ノ解釋ト云フコトハ、立法者ノ意思スラモ問フノ必要ハナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、法ノ適用ハ法ヲ執行スル者ノ任意ノ解釋ニ委セナケレバナリマセヌ、況ンヤ近來司法官及警察「フアッシュヨ」ノ聲ノ高イ今日ニ於キマシテハ尙更デアリマス、司法大臣ガ訓示又ハ注意ニ依リマシテ、法ノ圓滿ヲ期シタイト仰セニナリマスルコトハ、又之ヲ見ヤウニ依リマシテハ、此ノ法ノ不當若シクハ不備ナル點ヲ自ラ御認メニナツタカノヤウニモ思ハル、ノデアリマス、果シテサウデアリマシタナラバ何卒一步ヲ進メマシテ、法文ノ上ニ明確ナル規定ヲ掲ゲマシテ、世ノ疑惑ト誤解ヲ一掃セラル、コトガ寧ロ賢明ナル方法デハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、昨日司法省ノ刑事局長ハ現行船員法ノ刑罰ノ最高ハ五箇年トナッテ居ル、然ルニ刑法ニ於テハ之ヲ三箇年ニ引下ゲテアル、非常ナル是ハ恩典デア

ルカノヤウニ言ハレタノデアリマスルガ、我が海員ハ斯クノ如キコトハ問題トシテ居ラナイノデアリマス、實際ニ重大ナル過失又ハ怠慢ガアリマシタナラバ、五箇年ハ倍テ置キ、十箇年デモ二十箇年デモ決シテ厭フ所ハナイノデアリマス、所謂輕過失ヲ恐レル所以ノモノハ、其ノ事實ノ認定ノ正確ヲ期シ難イト云フ點ニ存スルノデアリマス、實際上船舶ノ海事故ハ果シテ是ガ過失デアるか否カト云フコトヲ判斷スルト云フコトハ、實ニ難事トシテアルノデアリマス、多年海上生活ニ任ジ、幾多ノ經驗ト知識トヲ有スル老練家ト雖モ、是ハ誠ニ憚ム所デアリマス、況ンヤ比較的ニ海事知識ト經驗ニ乏シキ所ノ檢察當局ニ於テオヤデアリマス、又況ンヤ海難事故ハ其ノ損害ガ莫大ニ上ルノデアリマス、人命、財産ニ及ス影響ハ實ニ甚大デアリマス、之ガ爲ニ動モスレバ事ハ誇大ニ報道セラレ、茲ニ社會問題ヲ惹キ起ス處ガ多分ニアルノデアリマス、司法省ニ於キマシテハ是レアルガ爲ニ重キ刑罰ヲ課セナケレバナラヌト言ハレマシタガ、是ガ誠ニ船員一統ノ怖ル、所デアリマス、是等ノ損害ノ重大ナルコト、此ノ社會問題ガ檢察當局ノ腦裡ニ反映シマシテ、遂ニ豫斷ニ陥リ、而シテ冤罪ヲ被ル者ハ決シテ少カラヌノデアリマス、又海難ノ事故ハ其ノ過失ナリヤ否ヤヲ判斷スルコトガ困難デアルト同時ニ、又其ノ過失デナイコトヲ證明スルコトモ等シク又困難デアリマス、ソレガ故ニ苟モ甚大ナル損害ヲ生ジ、社會問題トナリタル場合ニ於キマシテハ、多クハ之ヲ過失ナリト認定セラレテ處罰セラル

ト云フコトガ、過去ニ於ケル所ノ實例デア
 ルノデアリマス、不幸ニ致シマシテ一度
 船員ガ刑餘ノ人トナリマシタル場合ニハ、
 忽チ信用ヲ失墜致シマシテ、生涯失業ノ艱
 苦ヲ嘗メナケレバナラナイノデアリマス、
 即チ刑餘ノ人ハ保險會社ノ「ブラック・リスト」
 ニ上リマシテ、終生船長ニ就職ノ機會ヲ失
 フモノデアリマス、是レ實ニ船員ノ生命ヲ
 奪フモノデアリマス、而モ實際ニ過失ガア
 リマシテ其ノ運命ニ陥ルト云フコトデアレ
 バ、固ヨリハ當然デアリマス、併シナガ
 ラ若シモ事實ノ認定ヲ誤マツテ、斯クノ如キ
 悲慘ナル境遇ニ際會スル者ガアツト致シ
 マスレバ、是ハ昊天ニ哭スルノ外途ナク、
 實ニ憐レムベキコトデアルト思フノデアリ
 マス、況ヤ此ノ刑罰ヲ受ケマシタ後ニ續ク
 モノハ民事訴訟デアリマス、巨萬ノ請求ニ
 悩マサル、ノデアリマス、私ハ他ノ特別法
 ニ於キマシテ民法、商法等ノ大法典ノ除外
 例ヲ許シテ居リマス幾多ノ例ノアルコトヲ
 知ツテ居リマス、ソレ故ニ船員法改正ニ當リ
 マシテモ、大正三年以來ノ船員諸君ノ要望
 ヲ容レマシテ、之ヲ法文化スルノ雅量ヲ政
 府ニ望ム次第デアリマス、併シナガラ今ヤ
 時局ハ重大デアリ、會期ハ極メテ短イノデ
 アリマス、徒ニ論議ニ日ヲ費スノ時デナイ

コトヲ思ヒマシテ、有ハ無キニ優ルトノ諺
 ニ從ヒ、本法案ノ成立ヲ切望致シマスル、
 ソレ故ニ修正意見ナドノ提出ハ致シマセヌ、
 而モ最モ近キ機會ニ於キマシテ、船舶海事
 關係者ノ要望ヲ充足セラル、所ノ法案ノ提
 出ヲ切ニ政府ニ向ツテ希望致シマス、從ヒマ
 シテ本案ニ付キマシハ、先程秋元委員ノ御
 述ベニナリマシタル希望條件ニ賛成致シマ
 シテ本案ノ通過ヲ望ム者デアリマス
 ○内田重成君 私ハ本案ニ賛成致ス者デア
 リマス、希望決議ニ付キマシテハ後カラ述
 ベマス
 ○委員長(侯爵西郷從德君) 續イテ此ノ希
 望決議事項ニ移リマス、希望決議事項ヲ問
 題ニ致シマス
 ○内田重成君 私ハ此ノ希望決議ノ第一項
 ニ付キマシテハ其ノ文字ガ相當ニ修正セラ
 ル、ナラバ格別、此ノ原文ノ儘ト致シマシ
 テハ遺憾ナガラ賛成ノ意ヲ表シ兼ネル者デ
 アリマス、是ハ既ニ是マデ此ノ委員會席上
 ニ於キマシテモ質疑應答ガアリマシテ、政
 府當局ノ説明モ承リマシタ、又前議會以來
 衆議院ノ委員會ニ於ケル速記録ニ依リマス
 ト、此ノ問題ハ相當詳論ヲセラレテ居ルノ
 デアリマス、從ツテ如何ナル點ニ問題ガアル
 カト云フコトモ自ラ判明ヲ致シテ居ルモノ

ト思ヒマス、元普通刑法ガ明治四十年ニ改
 正ニ相成リマシタ際ニ、往來交通ノ妨害罪
 ニ於キマシテ、刑法百二十九條ノ規定ハ相
 當深ク研究サレタ歴史ガアルノデアリマス、
 其ノ當時此ノ刑法トノ關係ニ於キマシテ、
 海軍刑法等モ同時ニ研究致シテ居ッタノデ
 アリマス、海軍刑法中ニ矢張り現行ノ船員
 法ノ七十三條ニ殆ド同一ナル規定ガアリ
 マシテ、海軍艦船ノ乗員ガ怠慢ニ因ツテ其
 ノ艦船ヲ覆没破壊シタ場合ダケノ規定ガア
 リマシタノデアリマスルガ、之ヲ普通刑法
 ノ百二十九條トノ睨ミ合ヒニ於キマシテ、
 海軍刑法ノ怠慢罪ノ規定ハ削除セラレタ
 ノデアリマス、當時海軍刑法ノ怠慢罪
 ヲ削除スルニ付キマシテハ、相當長イ
 間深キ研究、各調査委員會ニ關聯致シ
 マシテ研究ノ末ニ、是ハ削除サレタノデ
 アリマス、其ノ以後現行ノ艦船法ノ適用ニ
 付キマシテハ、先般來政府委員ノ説明ノ通
 リニ大審院ノ判例ト致シマシテモ、輕過失
 ニ付キマシテハ普通刑法ノ適用アルモノト
 云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、
 從ツテ只今ニ於キマシテハ、船員ノ過失ニ
 付テハ船員法ト現行刑法トノ二箇ノ法律ノ
 適用ヲ受ケルノデアリマス、是ガ只今マデ
 ノ論議ノ焦點ニ相成ツテ居リマスル所ハ、海

上任務ノ特殊性ニ付テ、普通ノ司法官ノ司
 法上ノ裁斷ノ上ニ於テ非常ニ困難ナル事情
 モアルカラ、從ツテ海員ガ不安ヲ感ズルト云
 フ取扱上ノ問題ト、刑罰本體ノ問題ガ混淆
 シテ居ル意見ガ相當ニアリハシナイカト云
 フコトヲ自分ハ感ズルノデアリマス、刑罰
 本體ノ規定トシテノ考ト取扱上ノ關係ト
 ハ、是ハ嚴重ニ區別ヲセナケレバナラヌモ
 ノデアルト思フ、各種ノ業態ノ關係ニ於テ、
 船員ダケニ特殊ナル法規ヲ設ケテ、ソレデ
 濟ムモノデアアルカ否ヤト云フコトニ付テ、
 先般來政府當局ノ説明ガアツタノデアリマ
 スルガ、是ハ我々モ相當ニ考慮シナケレバ
 ナラヌ問題ト思フ、殊ニ此ノ海員ト海軍軍
 人トノ關係ハ極メテ密接ナルモノデアツテ、
 又殆ド同一種類ノ業態ノモノデアルト言ハ
 ナケレバナラヌ、ソレガ現在ニ於キマシテ
 ハ海軍刑法ガ普通刑法ノ領分ニ讓ツテアル、
 其ノ時ニ當ツテ此ノ船員法ダケノ關係デ、此
 ノ第一項ニ示サレタル如ク決定的ニ、著シ
 ク其ノ職務ヲ怠リタル場合ニアラザレバ、
 處罰セザルコトヲ明カニスト云フ風ニ貴族
 院ノ意思ヲ表明スルコト、當委員會ノ意思
 ヲ表明スルト云フコトハ、少シク早過ギハ
 シナイカ、今少シク研究ヲ要スルモノデハ
 ナイカト考ヘルノデゴザイマス、此ノ重大

ナル各種法制ノ關係ヲ、僅カ一日二日ノ審議ニ依ツテ、衆議院ガ此ノ附帶決議ヲ附シタカラト云ツテ、ソレニモウ一ツ輪ヲ掛ケタヤウナ文句ヲ以テ、此ノ貴族院ガ斯ウデナケレバナラヌト云フ風ニ、其ノ法制關係ヲ示スト云フコトハ私ハマダ早イト思フノデアアル、若シ之ニドウシテモ斯ウ云フモノヲ附ケタイト云フコトデアリマスナラバ、「私ハ海運ノ重要性ト海上任務ノ特殊性ニ鑑ミ船員ノ業務上ノ過失ニ對スル刑事制裁法規ニ關シ殊ニ慎重ノ調査ヲ爲スコト」ト云フ位ノコトデアラナラバ、現在相當世間ニ此ノ問題ニ付キマシテ、當カ不當カ分リマセヌケレドモ、議論モアルコトデアリマスカラ、此ノ委員會トシテモ、又貴族院ト致シマシテモ、其ノ世間ノ聲ニ應ジテ、政府トシテハ海運ノ重要性、海上任務ノ特殊性ヲ考ヘテ、其ノ制裁法規ニ付テハ、慎重ノ調査ヲナサレタラ宜カラウト云フコト位ハ申シテ差支ナイト考ヘマス、其ノ以上進ミマスルコトハ貴族院トシテ、私ハ餘リ是ハ行過ギルコトデアルト確信スルモノデアリマス、我々ノ多年ニ互ツテ、此ノ問題ニ付テ研究ヲ致シマシタコトハ容易ナラス、ソレヲ僅カナ時間ノ研究ニ依ツテ、斯様ニ明確ニ、明瞭ニ、著シク職務ヲ怠ツタ場合デナケレ

バ處罰セヌ、輕過失ハ全然無責任爲デアルト云フ風ニ、刑法ノ原則ニ大例外ヲ認メルガ如キ規定ヲ茲ニ明カニスルト云フコトハ、少シ私ハ早計デアルト考ヘル、ソレデ今少シ之ガ文句ヲ、緩和セラレタ文句デ現サレ、一般ノ聲ニ聽イテ政府ハ慎重ニソレニ付テノ調査ヲ爲サレタイト云フ程ノ、御注意ヲ申上ゲルト云フ程度デアレバ、私モ之ニ同意ヲ致シタイト思フノデアリマス、此ノ問題ハ、恐ラク獨リ海員法ノ問題デ收ラヌモノデ、必ス海軍刑法トノ對象問題ガ出テ來ル、ソレデアリマスカラ此ノ法案ノ中ニ之ガ組入レラレマスト云フト、刑法ニ對スル一種ノ特別法ト相成ルモノデ、刑法ガ除外セラレテ、船員法ダケガ適要サレルト云フ結果ニナル、從ツテ海軍々々ノ處罰法規ト異ナルト云フ結果ニ相成ル、ソレハ法制上如何ナモノデゴザイマセウカト思フノデアリマス、ソレデ私ハ甚ダ遺憾ナガラ此ノ原案ノ文句ノ儘デハ同意ヲ致シ兼ネルノデアリマス、ソレカラ此第二項ノ「海事審判所ノ審判」トアリマスガ、是ハ恐ラク文字ノ誤リデ、「海員審判所ノ審判」ト云フ意味デアラウト思フノデアリマス、私ハ二項以下ニ於キマシテノ希望決議ト致シマシテハ、若シ之ヲ爲シ得ベクンバモウ少シ大キイ問

題、貴族院トシテ提出シテモ、サウ衆議院ニ於テ決議ニナツタカラ、ソレヲ其ノ儘受ケルト云フコトデナシニ、獨自ノ希望決議ガナイノデハアルマイト云フ風ニモ感ジハシマスケレドモ、此ノ際其ノ提案ハ容赦致シテ置キマス、二項以下ニ付キマシテハ、私モ同意ヲ致ス積リデアリマス、第一項ニ付キマシテハ原案ノ儘デハ賛成致シ兼ネルコトノ意思ヲ明カニ表明致シテ置キマス

○委員長(侯爵西郷從德君) モウ一度第一項ノ修正ノ文面ヲ仰シヤツテ戴キタイ

○内田重成君 「政府ハ海運ノ重要性ト海上任務ノ特殊性ニ鑑ミ船員ノ業務上ノ過失ニ對スル刑事制裁法規ニ關シ殊ニ慎重ノ調査ヲ爲スコト」是ハモウナケリヤナクトモ宜イ希望決議デアリマスガ、慎重ノ調査ハ何時デモシテ居ルノデアリマスカラ……

○委員長(侯爵西郷從德君) 内田君ノ意見ガ出マシタガ外ニ御意見ハアリマセヌカ

○岩田田造君 私ハ此ノ希望決議ニハ全部賛成ヲ致スモノデアリマス、只今内田君ノ御意見モゴザイマシタガ、此ノ第一項ハ刑事法ノ實體ニ關スル點ト其ノ取扱トヲ混同シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ御心配セヌノデアリマシテ、是ハ全然實體ニ關ス

ル希望ヲ述ベテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ實體ニ關スル希望ト致シマシテモ、餘リ行過ギテ居ルノデナイカト云フ御考ノヤウデアリマスガ、先般來此處デ質問應答デ現レテ居リマス所ニ依ツテ見マシテモ、此ノ海運ノ、船員ノ海上任務ノ特殊性ト云フコトニ付キマシテハ、私共ノ考ト致シマシテハ、モウ是ハ此ノ過失罪ニ付テ特別ノ刑事規定ヲ設クルト云フコトニ付テハ、是レ以上調査ノ必要ヲ認メナイノデアリマシテ、其ノ特殊性ノアルト云フコトニ付テハ十分ノ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯政府當局ニ於テハ特殊性ハ認メテ居ラレマスルガ、其ノ程度ニ付キマシテモ私共ノ見ル所ト、果シテ同ジ程度ニ認メテ居ラレカドウカハ、是ハ未ダ明カニナツテ居リマセヌガ、我々ト致シマシテハ、此ノ過失罪ニ付テ特殊ノ規定ヲ設クルニ十分ナル、特殊性ノアルモノト云フ立場デ此ノ第一項ハ設ケラレタモノト思フノデアリマシテ、從ツテ其ノ意味ニ於キマシテ、政府ガ之ヲドウ云フ風ニ扱ハレルカト云フコトハ問題デアリマスガ、此ノ委員會ノ決議ト致シマシテハ、其ノ特殊性ハ、既ニ我々ノ認メル特殊性ハ、此ノ特別ノ取扱ヲスルニ足ル程度ノモノナルコトヲ認メル前提ノ下

ニ、第一項ニモ、希望事項ニモ賛成ヲスルモノデアリマス、ソレカラ海軍刑法トノ關係ヲ御心配ノヤウデアリマシタガ、是ハ昨日デアリマシタカ、此處デ海軍ノ政府委員ノ御説明モ伺ツタノデアリマスガ、是ハ私人ノ考ヘル所ニ依リマスルト、軍人ノ軍紀ノ上カラ言ヒマシテノ責任ノ問題ト、唯一般人ノ責任ノ問題トハ、是ハ固ヨリ取扱方違フノガ當然デアルト考ヘルノデアリマス、昨日海軍ノ方ノ御話モアリマシタヤウニ、一般ノ過失ノ場合ニ付テ、之ヲ普通刑法ニ委ネテ置クコトガ良イカ悪イカ、或ハ海軍刑法ノ方ニ移シテ、モット軍人ラシク、モット嚴重ニ規定スベキデヤナイカト云フ議論ガ部内ニアルト云フコトハ、是ハ當然ノコトト私ハ考ヘルノデアリマス、從ツテ海軍ノ方ノ軍紀ノ上カラ申シマシテ、特ニ嚴重ナ規定ヲ設ケナケレバナラヌノデアルガ、現在ニ於テハソレダケノ必要モナイカラ、一般ノ刑法ノ規定ニ委シテ置イテ宜カラウト云フ、斯ウ云フ意味デ海軍ノ方ハ委シテ居ラレル、サウ云フ状態デアリマシテ、サウ云フ海軍ノヤウナ軍紀軍律ノ上カラ嚴重ニ扱ハレルモノト、一般海員、船員ガ一般刑法ノ上デ取扱ヲ受ケル上ニ於テ寬嚴ノ差ガアルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアッ

テ、其ノ取扱方違フテ居ルカラト言ッテ少シモ不思議ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、從ツテ海軍ノ方トモ權衡問題ヲ考慮スル必要ハ毫モナカラウト思フノデアリマス、第一項ニ付テ申上ゲマスノハ、ソレダケデアリマスガ、序デニチョット第二項ノ意義ニ付キマシテ、此ノ希望決議ガ若シ可決ニナリマスル場合ニ於テ、殊ニ司法當局ノ御注意ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、是ハ此ノ海員審判所ノ審判ノ刑事訴追ヲ後ニシテ貫ヒタイト云フ希望デアリマスガ、是ハ私ハ賛成スル者デアリマスルケレドモ、本來ハ實ハ海員審判所ノ審判ト、ソレカラ刑事裁判ト云フモノハ全ク、全クト云フノハ言ヒ過ギデアリマスガ、少シ違フタ立場デ行ハルベキモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、海員審判所ノ方ハ、是ハ行政處分デ色々海上ノ懲戒紀律ヲ維持スルト云フコトモアリマスルケレドモ、同時ニ海事ノ進歩發達ノコトヲ頭ニ置イテ心配ラスルト云フ意味モ多分ニアルモノト思フノデアリマス、從ツテ多少無理ト思ハル、ヤウナ位ニ是ハ嚴重ニ見テ、少シデモ過失ガアレバ、ソレヲ懲戒シテ將來ヲ戒シメルト云フコトニナラナケレバナラス、又サウ云フ方針デ出テ居ルモノト思フノデアリマス、デアリマスカラ

海員審判所デ之ガ懲戒ヲ加フベキモノダ、多少ハ過失ガアルモノダト審判サレタカラト云ツテ、刑事罰マデ之ニ加ヘテ犯罪人ニシナケレバナラスト云フコトハ、海員審判所ノ審判ト云フモノハ、サウ云フ意味ノ基礎ニサレテハ甚ダ迷惑ト私ハ思フノデアリマス、デアリマスカラ是ハ其ノ海事海難ノ審判ハ困難デアリマスカラ、其ノ後ニシテ、之ヲ參考ニシテ慎重ニヤツテ貫ヒタイト云フ意味デ是ハ海員審判ノ、審判ノ後ト云フコトヲ我々ハ希望スルノデアリマシテ、決シテ審判所デ懲戒ヲサレタカラ、ソレニ則ツテ過失アルモノトシテ處罰ラシテ貫ヒタイト云フヤウナ意味ハ毫モナイノデアリマシテ、本當ノ希望ハ海員審判所デ是ハ輕イモノダト、斯ウ云フコトニナツタ時ニハ刑事訴追ハシナイ、海員審判所デ重ク懲戒サレルト云フ時ニ初メテ訴追ヲサレルガ然ルベキコトト、斯ウ云フ意味デ其ノ後ト云フコトヲ希望シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ一ツ司法當局ニ於カレマシテハ、十分御諒解ヲ願ッテ置キタイト考ヘルノデアリマス、ソレダケ申上ゲマシテ私ハ此ノ希望決議全部ニ賛成ヲ致シタイノデアリマス

マシタノハ是マデノ議會ニ於ケル意見ガ、實體法ノ關係ト、ソレカラ取扱上ノ關係ヲ混同シテノ議論ガ多イヤウニ考ヘルト云フコトヲ申述ベク、其ノ希望決議其ノモノガ兩方含メテノ曖昧ナモノデアルト云フ意見デハナイ、ソレカラ此ノ希望決議ニ依リマスレバ、本委員會ニ於テハ、船員ノ業務上ノ過失ニ對シテハ著シキ怠慢ノ場合デナケレバ處罰シナイト云フコトノ意思ヲ表明シ、而シテ之ガ若シ院議ニ於テ多數ヲ以テ採用サレマシタ場合ニハ、貴族院ハ其ノ法制上ニ付テ今日只今、船員ノ業務上ノ過失ハ著シキ怠慢ノ場合ニ限ッテ處罰スルノデアルト云フコトノ意思ヲ表明シタ譯ニ相成ル、是ガ最近ニ於テ改正ノ刑法等ガ當院ニ提出サレタ場合ニ於テ、審議ノ上ニ於キマシテモ相當影響ガアルモノト思フ、デ是等ノ點ヲ考慮シマスカラ、貴族院ガ今日此ノ問題ニ付テ斯程マデニ明カニ、此ノ重大問題ニ付テ意思ヲ表白シテ置クト云フト云フコトハ、餘程必要ノアルコトデハナイト云フコトニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ先程ノ考ヲ申上ゲタ譯デス、重ネテ此ノ點ヲ一言申上ゲテ置キマス

○内田重成君 此ノ第一項ハ、是ハ實體上ニ關スル意見デアルト思フ、デ先程申述ベ

○男爵深尾隆太郎君 是ハ時間モ來マシタコトデスシ、決定スルニハ成ルベク全員一

致ニ願ツタラ如何カト思ヒマスガ、懇談ノ機
會ヲ與ヘラレテハ如何デアリマスカ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレニ御異議
ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ一時
半ニ再會スルコトニ致シマス、ソレマデ休
憩致シマス

午後零時十一分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今カラ委員
會ヲ開會致シマス

○子爵秋元春朝君 私ハ午前中ノ委員會ニ
於キマシテ討論ニ入ツタ後……贊成ノ理由
ヲ申述ベシ希望條件ヲ附ケテ贊成致スト云フ
コトヲ申上ゲタノデスガ、其ノ希望條件ノ
中、字句ワ少シ變ヘタイノガアリマスシ、
又活字ノ違ヒナドモゴザイマスノデ、ソレ
ヲ訂正致シテ、改メテ茲ニ私ノ希望決議ヲ
一ツ申上ゲマス

希望決議

- 一、政府ハ海運ノ重要性ト海上任務ノ特
殊性ニ鑑ミ速ニ現行刑法ヲ改正シ船員
ヲシテ安ジテ其ノ職務ニ従事スルヲ得
セシムルヤウ研究調査スル事
- 二、政府ハ船員ノ業務上ノ過失ニ對シテ

ハ海員審判所ノ審判後ニ非ザレバ刑事
訴追ヲ爲サル方針ヲ採ル事

三、政府ハ檢察當局ニ對シ船員ノ業務上
ノ過失ニ對シテハ特ニ其ノ取扱ヲ慎重
ニシ輕々處斷スルガ如キ事ナキヤウ訓
令ヲ發スル事

四、政府ハ檢察當局ニ對シ海難ニ際シ船
員ノ喚問取調ヲ爲スニ當リテハ充分ニ船
員ノ任務ヲ理解シ其ノ業務ニ支障ヲ來サ
ザルヤウ注意スベキ旨訓令ヲ發スル事
五、水先人ニ對シテモ船員ト同様ノ取扱
ヲナス事

所謂五ツノ事項ヲ原案ニ付シマシテ、贊成
ヲ致シタイト思ヒマス

○男爵深尾隆太郎君 今朝程秋元子爵カラ
御提案ニナリマシタ希望決議ト、只今御述
ベニナリマシタ希望決議トハ、文章ノ上デ
先ツ第一項方稍、緩和サレテ居ルカノ如キ
感ガアリマスルガ、是ハ今朝程、内田委員ノ
御説モアリマシテ、成ルベク全員一致ノ希
望ニシタイト云フ御考ヲ以チマシテ、懇談
ノ結果斯様ナコトニ相成ツタモノト考ヘマ
ス、從ヒマシテ遞信大臣ニ於カレマシテハ、
此ノ意味ハ無論何ガ船員ヲシテ安ンジテ職
務ニ従事スルコトヲ得セシメルカト云ヘバ、
即チ此ノ刑罰ニ關シテ著シク職務ヲ怠ク

ト云フ時ニノミ處罰ヲサレルト云フコトニ、
刑法ノ改正ガアルト云フコトガ、即チ船員
ヲシテ安ンジテ職務ニ従事セシムルコトデ
アルト云フコトハ申上ゲル迄モナイコトデ
アリマスルケレドモ、其ノ意味デアルト云
フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリ
マス、サウ致シマシテ其ノ意味ガ達成スル
ヤウニ、十分ナ御盡力ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、一應遞信大臣ノ御答ヲ得マシ
テ贊成ヲ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今秋元子爵
ガ御讀上ゲニナリマシタ附帶決議ノ御趣旨、
竝ニ深尾男爵ガソレニ附加シテ御説明ニナ
リマシタ御趣旨ハ能ク諒承致シマシタ、遞
信省ト致シマシテハ船舶ノ操縦ガ極メテ困
難ナル事情、及ビ海難原因ノ複雑ナル事情
等ニ付キマシテ、能ク理解シテ居リマスノ
デ、司法當局トモ篤ト協議ノ上、御希望ノ
アル所ヲ十分尊重致シマシテ、出來得ルダ
ケノ努力ヲ致ス積リデゴザイマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 希望決議事項
ニ付キマシテ御意見ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ只今
カラ船員法改正法律案竝ニソレニ附隨致シ
マス希望決議ニ付キマシテハ採決ヲ致シマ

ス、船員法改正法律案、原案通りデ御異議
ゴザイマセヌカ

○委員長(侯爵西郷從德君) 希望決議、修
正案通りデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ兩方
トモ可決致シマス、是デ散會致シマス

午後一時四十六分散會

出席委員左ノ如シ

- 委員長 侯爵西郷 從德君
- 副委員長 伯爵後藤 一藏君
- 委員 侯爵池田 宣政君
- 子爵伊集院兼知君
- 子爵松平 保男君
- 子爵秋元 春朝君
- 内田 重成君
- 伯爵有地藤三郎君
- 白根 竹介君
- 今井田清德君
- 伯爵井上 清純君
- 伯爵深尾隆太郎君
- 橋本辰二郎君
- 油井 德藏君
- 岩田 宙造君

國務大臣

司法大臣 鹽野 季彦君

遞信大臣 永井柳太郎君

政府委員

遞信政務次官 田島勝太郎君

遞信參與官 犬養 健君

遞信省管船局長 小野 猛君

昭和十二年八月七日印刷

昭和十二年八月八日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局